大阪公立大学 Osaka Metropolitan University 学術情報リポジトリ

景頗語の限定助詞sha、chyu とhkraisha について

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2013-07-23 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 張, 麟声 メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.24729/00004379

景頗語の限定助詞 sha、chyu と hkraisha について

張　麟声

1　はじめに

景頗語には限定助詞[1]が３つがあり、sha、chyu と hkrai である。その中、sha が一番広く使われているため、張麟声、岳麻腊(2012)において一足先に取り扱われている。その張麟声、岳麻腊(2012)に続き、本稿では、まず、残る chyu と hkrai について記述する。それから、sha、chyu と hkrai という三つの助詞から構成される景頗語の限定助詞の意味の体系を描いてみる。

管見の限り、chyu、hkrai についての先行研究は、戴庆厦、徐悉艰(1986)しかない。戴庆厦、徐悉艰(1986)では、まず chyu、hkrai と sha をひとくくりにして、次のように述べられている。

> 这３个也是表示范围的副词。词义一部分相同或相近。它们在结构上和主语、宾语的关系很密切，总是跟在充当主语或宾语的名词(包括名词性短语),代词的后面。（これら三つも範囲を表す副詞であり、意味が部分的に似ている。構造においては、主語や目的語と関係が密接であり、基本的に主語や目的語になる名詞(名詞的フレーズも含まれる)、代名詞の後について用いられる。）　p.180

景頗語の副詞は、普通動詞や形容詞の前に使われ、意味的にも動詞や形容詞に掛かるものであるために、動詞や形容詞と密接な関係を持つとされる。そのような副詞と違い、この三つの限定助詞は、動詞や形容詞ではなく、むしろその前に来る名詞や代名詞に密接な関係を持つのである。「だけ」や「ばかり」のような日本語のとりたて助詞の属性に通じるものであり、SOV 型言語の特徴を示していると考えられる。

本論文は４節からなる。以下、２において chyu と hkrai を記述し、３では、張麟声、岳麻腊(2012)における sha についての記述も加えて、景頗語における限定助詞の意味の体系を描く。最後に、４ではまとめに代

[1]日本語のことを参考にして、筆者が付けた名前である。先行研究の戴庆厦、徐悉艰(1986)では、以下に触れるように、副詞とされている。

えて、今後の課題を述べる。

２　chyu と hkrai について

以下、２－１と２－２に分けて、戴庆厦、徐悉艰(1986)の記述を踏まえて、chyu と hkrai の意味・用法について検討する。

２－１　chyu について

chyu について、戴庆厦、徐悉艰(1986)では、次のように述べられている。なお、用例の引用に際して、番号は本稿のものとし、元の中国語による逐語訳や意訳を日本語に訳している。

表示动作行为是自己一个人或个别进行的，也表示“只、唯独”的意思。用在动词前，若动词带有宾语，则放在宾语前。例如:(動作行為が一人で行われたことを表し、また、「ただ、だけ」の意も有する。動詞の前に用いられ、動詞に目的語がある場合は、その目的語の前に置かれる。例えば：)

（１）　Shi　chyu　nta ko　la nga ai.
　　彼　一人で　家　で　待っている
　　(彼は一人で家で待っている。)

（２）　Ma　chyu　sa wa sai majo, ngai myit　grai　nmu nngai.
　　子供　一人で　行った　ので、　私　安心　大変　できない。
　　(子供が一人で行ったので、私は大変心配している。)

（３）　Ngai　shi chyu hpe　shat shadu　jo　sha nngai.
　　私　彼　だけ に　ご飯 作る あげる　食べる
　　(私は彼にだけご飯を作ってあげる。)

（４）　Jongma yong　wa mat masai,　sara　chyu　nga ai.
　　学生　みな　帰った　先生　だけ　いる
　　(学生たちはみな帰った。先生しかいない。)　(p.180 - 181)

例(1)、例(2)がいわゆる“独自、単独(一人で、単独で)”の用法であり、例(3)、例(4)はいわゆる“只、唯独(ただ、だけ)”の用法である。しかし、例(1)、例(2)における chyu と例(3)、例(4)における chyu との

間に、本当に意味・用法の違いがあるのか、それとも、構文的位置(例えば、例(3)の場合は、例(1)、例(2)と違い、chyu が主語の後ではなく、受益者を表す補語の後に使われている)や、動詞の性格(例えば、例(4)は例(1)、例(2)と違い、動詞が存在動詞である)によって、中国語の異なる言い方にあたっているだけなのかは、よく分からない。

また、「動詞の前に用いられ、動詞に目的語がある場合は、その目的語の前に置かれる。」という記述が、第一節において引用した「これら三つも範囲を表す副詞であり、意味が部分的に似ている。構造においては、主語や目的語と関係が密接であり、基本的に主語や目的語になる名詞(名詞的フレーズも含まれる)、代名詞の後について用いられる。」という叙述との間に論理的な矛盾が感じられる。つまり、第一節において引用した文章では、動詞に目的語がある場合、限定助詞はその目的語の後について用いられるとされているが、ここの述べ方では、目的語の前に用いられることになっている。

このように、先行研究において、はっきりされているところが少なくとも二つあるが、こういったことについての検討は、今後の課題とするほかない。なぜなら今手元にある自製のコーパスに chyu の用例が一例もないから、研究を行うのに、データが不足しているのである。

sha、chyu、hkrai という三つの限定助詞に関して、自製のコーパスに用例がまったくないのは、chyu だけである。この chyu がもう現在使われていないか、或いは、使われてはいるが、使用頻度がたいへん低いのであろうか。いずれフィールドワークで検証したい。

２－２　hkrai について

hkrai について、戴庆厦、徐悉艰(1986)では、次のように述べられている。

> 既表示动作行为是由自己一个人或个别人进行的，又表示“尽是、全是”的意思，在句中究竟表示哪一个意思，要靠上下文或语言环境来确定。例如：(動作行為が一人で行う意を表すだけでなく、「ばかりだ」の意も表す。具体的にどの意味になるかは、文脈やコンテキストによって決まる。例えば：)

（５） Shi hkrai sha nta sin nga ai.
彼 一人で だけ 家の番をしている
（彼は一人だけで家の番をしている。）

（６） Nang hkrai manam hte jahta chyai nga i!
あなた 一人で 客 と 話してください。
（あなた一人でお客さんと話してください。）

（７） Shi hkai ai go nbu hpun hkrai re.
彼 植えている は クルミの木 ばかり だ
（彼が植えているのはクルミの木ばかりだ。）

（８） Wora ko jongma hkrai rai ma ai[2].
あそこ 学生 ばかり だ
（あそこは学生ばかりだ） (p. 181 - 182)

このhkraiに関する戴庆厦、徐悉艰(1986)の記述は、手元にある自製のコーパスからも支持されている。つまり、hkraiによる限定の対象は、単一の個体の場合と、同じ性質を持つ個体からなる類の場合という二つのバラエティが見られ、この意味では、日本語の「ばかり」と大変似ている。

少し長いが、以下、日本語記述文法研究会(2009)における「ばかり」に関する記述の一部を引用する。

とりたて助詞「ばかり」は，限定の意味を表すが，限定の仕方に２種類ある。

１つは,「だけ」と同様に，とりたてた要素が唯一のものであることを示し，他のものを排除するという限定の仕方である。

・ ほかの点は大目に見てやってもいいが,この点ばかりは見逃せない。
・ この品は値段ばかり高くて，質は低い。
・ この運動は，苦しいばかりで，何の効果もない。

[2] この場合のrai ma aiも例(7)のreも日本語の「だ」に相当する。景頗語では、主語の人称などによって述語動詞が形態的変化をする。

もう１つは，とりたてた要素が関わる事態が何度も繰り返されることや，とりたてた要素が重なって多数にのぼることを表すという限定の仕方である。

・ 佐藤さんは来客にコーヒーだけ出した。　……（１）

・ 佐藤さんは来客にコーヒーばかり出した。……（２）

(1)は，佐藤さんが来客に唯一出したものはコーヒーであり，そのほかのもの，たとえば食事やお菓子などは出さなかったという意味である。つまり，「だけ」によってとりたてられた要素が唯一のものであることが示され，ほかの要素が排除されている。一方，(2)では，コーヒー以外のものも出した可能性は完全に否定されない。それよりも，「佐藤さんが来客にコーヒーを出す」という事態が何度も繰り返されたことを表すのが，この文の主眼である。

（略―執筆者）

次の例ではそれぞれ，インスタント食品の数量が多いこと，私の家の周りの畑が多いこと，この部署のスタッフに親切な人が多数いることが表されている。

・ 戸棚の中にはインスタント食品ばかりある。

・ 私の家はかなりの田舎にあって，周りは畑ばかりである。

・ この部署のスタッフは，親切な人ばかりだ。

p. 62

上の例(5)、例(6)は、「ばかり」の一つ目の意味である「「だけ」と同様に，とりたてた要素が唯一のものであることを示し，他のものを排除するという限定の仕方である。」の実例であり。また、例(7)、例(8)は「ばかり」の二つ目の意味である「とりたてた要素が関わる事態が何度も繰り返されることや，とりたてた要素が重なって多数にのぼることを表すという限定の仕方である。」の後半部分、つまり、「とりたてた要素が重なって多数にのぼることを表す。」の実例だと考えらえれる。

「ばかり」の二つ目の意味である「とりたてた要素が関わる事態が何度も繰り返されることや，とりたてた要素が重なって多数にのぼることを表すという限定の仕方である。」の前半の「とりたてた要素が関わる事態が何度も繰り返されること」にあたる実例は、戴庆厦、徐悉艰(1986)

において、提示されていないので、以下、二つばかりあげておく。

（9） Nga rim wa ai shaloi mung gaida gasha go,
魚 掴む 時 も やもめの子 は
gaga hpro hpru ai num ni a shingnoi e hkrai
ほかの 顔 綺麗な 女性たち の 籠 に ばかり
nga gaba rim bang ya uai.
魚 大きい 掴む 入れる あげる
(魚を掴む時も、やもめの子は、ほかの顔がきれいな女性たちの籠にばかり、大きいな魚を掴んでは入れてあげる。) p. 478

(10) Raitim nang go ngai hpe tsora masin machyi myit
しかし あなたは 私 を 思いやる
n madun ndai hta nga, je na je go myit maga
どころか 時間が経てば経つほど 心
ran na amu hkrai galondai.
割る こと ばかり する
(しかし、あなたは私を愛してくれるどころか、時間が経てば経つほど、私の心を傷つけることばかりをする。) p. 494

3 景頗語の限定助詞の意味の体系

以上、chyu と hkrai の意味・用法を一通り見てきたので、以下、張麟声、岳麻腊(2012)で記述した sha の意味・用法の要約を示しておく。張麟声、岳麻腊(2012)において、sha の意味・用法は、次のように、6種類に記述されている。なお、用例の番号は本稿の通し番号にした。

1. 名詞や指示詞につき、限定を表す。

(11) Ngai Jinghpo ga sha chye ga ai, Muwa ga
私 ジンポ 語 だけ できる 話す 中国 語
n chye ai.
ない できる 話す
(私は景頗語しか話せなくて、中国語は話せない。) (作例)

2. 名詞、形容詞、動詞などにつき、後ろに否定辞を従えて、慣用的に使われる。「だけでなく」に対応する。

(12)　Shi go　madu a　bungli　galo ngut kau ai　sha　n-ga,
　　彼 は　自分 の　仕事　やり終わる　だけ　でなく
　　masha ni　hpe mung　grai garum kau nu ai.
　　人　の　を　も　手伝った
　　(彼は自分の仕事を綺麗にやり終えただけでなく、人のまで手伝った。)　p. 238

3.「小さい、少ない、細い、短い、軽い」のような「小」極を示すフレーズのあとにつき、程度が低い、または数量的に少ないことを表す。

(15)　Shi a　mung　dai mate　sha　lo　ai　re.
　　彼 の　も　それくらい小さい　だけ　大きさ　の　だ
　　(彼のもそれくらい小さいものだ。)　p. 38

4.近い過去を表す時間表現につき、その時間が今から遠くないことを表す。

(16)　Shi　mani na ta hta　sha　nta de　wa mat sai.
　　彼　先月　だけ　実家に　帰った
　　(彼はつい先月実家に帰っていた。)　(作例)

5.仮定節における主要名詞句につく。特に限定のニュアンスは感じられない。したがって、なぜこのような用法があるのかも現時点では分からない。

(17)　Nang　sha　n　garum la　yang go　ngai hpa mung byin
　　あなた　だけ　ない　助ける　なら ば　私　何　も　なる
　　lu na　n　re.
　　うる　ない　だ
　　(あなたが助けてくれなかったら、わたしは何もできなかったのだ。)　(作例)

6.副詞の語尾として使われ、日本語の「と」に相当する。特に限定のニュアンスはない。この場合の sha が限定助詞の sha と同一物かどうかも実は言い切れない。

(18)　Shi hpe　atsom　sha　garum　ya　rit!
　　彼　を　しっかりと　手伝う　あげる　ください。
　　(彼をしっかり手伝ってあげてください。)　p. 202

上述の sha、chyu と hkrai という三つの形の意味・用法を総合して考えると、景頗語における限定助詞の意味の体系を次のように記述することができるかと思われる。

〈1〉 個体を限定する。「だけ」「しか…ない」「ばかり」の一部の意味に対応する。

〈2〉 類を限定する。「ばかり」の一部の意味に対応する。

〈3〉 程度が低いことや数量的に少ないことを表す。日本語のとりたて助詞にこれに完全に対応する意味・用法はない。

〈4〉 時間が近い過去であることを表す。日本語のとりたて助詞にこれに完全に対応する意味・用法はない。

4種類の中、〈1〉と〈2〉は限定表現の意味の原型であり、おそらくどの言語にもこのような意味を表す形式はあるであろう。ここであえて「限定表現」や「形式」という用語を使っているのは、SOV 型言語では、これが大体助詞であり、そして、SVO 型言語では副詞や形容詞になり、また、その他の語順の言語においてどんな品詞なのかが、まだ完全に分からないからである。

〈1〉と〈2〉が限定表現の意味の原型であるとすれば、〈3〉と〈4〉は、その原型から拡張した意味・用法だと言える。日本語のとりたて助詞にこれに完全に対応する意味・用法はないとしたが、日本語記述文法研究会(2009)において取り上げられている「ばかり」の次のような意味・用法は、かなり近いものだと考えられる。

「気持ちばかり」「心ばかり」「名ばかり」「申し訳ばかり」といった固定した表現は、量の少なさや、程度や規模の小ささや制限などを表す。

・ これは、ほんの気持ちばかりのお礼です。

・ 当社では、社長とは名ばかりで、実際に権限を握っているのは専務だ。 p.71

また、よく知られているように、次の「しか…ない」や「だけ」は、

話し手が数量的に少ないことをとらえる表現だが、原理的には似ていると考えられよう。

(19)　今日の授業には３人しか来なかった。　（作例）

(20)　３人だけでは無理だ。　（作例）

そして、以下のように、景頗語にも、このように、限定助詞が数量表現の後について、数量が少ないニュアンスを表すケースが見られる。

(21)　Ka　lang lang　sha　ka ai go,　atsom　ka u。
　　書く　一　一　だけ 書くならば しっかり　書いて
　　（一回しか書いてくれないならば、(せめて)しっかりと書いて。）
　　p．136

このように、日本語においても景頗語においても、限定表現の意味の原型が、「数量詞の後について、その数量が少ないということを表す意味」という段階にまで拡張している。ここまではまったく同じだが、上述のように、日本語においても景頗語においても経路が少し違いを見せながらも、「数量表現以外の形式について、数量の少なさや程度の低さを表す意味」への拡張が見られる。

４　おわりに

まとめに代えて、今後の課題を二つ書いておく。

一つ目は、より高いレベルでの、景頗語における限定助詞の記述的研究を進めることである。限定助詞は使用頻度が高いものではないので、コーパスが小さいと、実例が十分に集まらない。したがって、ネイティブの力を借りて、使用に堪えうるコーパスを作成することが何よりも急務である。

このように、使用に堪えうるコーパスができれば、これを利用して、まず三つの限定助詞の構文的なあり方を次の四つの角度から正確に記述したい。

① どの格成分をとりたてることができるか。

② どのような副詞的成分、または、形容詞的成分をとりたてることができるか。

③ どのような述語をとりたてることができるか。

④ 限定助詞と格助詞、及び限定助詞間の接続順序はどうなっているか。

このような構文的な記述を成し遂げた段階において、改めてその原型的意味とその拡張の経路を記述する。

以上は景頗語の限定助詞に限定した研究だが、今後の二つ目の課題はこうした景頗語や日本語の研究を踏まえて、言語の限定助詞の類型的な性格を探ることである。上に述べたように、限定表現は、SOV 型言語では、大体何らかの形式の後に付着して使われる助詞であり、そして、SVO 型言語では副詞や形容詞だったりする。しかし、SOV 型と SVO 型言語の両方の性格を持ち合わせている例えば白語のような言語においてどうなっているのか、さらに言うと、身近にある VSO 型言語であるタガログ語やアラビア語においてどうなっているかを調べなければならない。

また、こういった言語の語順から類型的性格は、構文的レベルに限らず、意味拡張というレベルにおいても見られるかもしれない。いずれ今後の課題としたい。

参考文献：

戴庆厦、徐悉艰(1986)《景颇语语法》，中央民族学院出版社

張麟声、岳麻腊(2012)「景頗語の限定助詞 sha について」，大阪府立大学人文学会『人文学論集』第 30 集，pp131-142，2012 年 03 月.

日本語記述文法研究会(2009)『現代日本語文法⑤』，くろしお出版

用例の出自：

本稿の用例は、自製のコーパスのものを使用した。自製のコーパスの本来のデータは、戴庆厦、徐悉艰(1986)の例文、景頗語の小学校一年生から三年生までの教科書、景頗語の一部の新聞、及び岳麻腊さんの作例などからなっている。本稿で使った用例は、戴庆厦、徐悉艰(1986)の例文と岳麻腊さんの作例しかないので、前者においては、戴庆厦、徐悉艰(1986)のページ数を示し、後者に関しては。「(作例)」と表記することにした。

本稿は科学研究費基盤研究(C)「景頗語と日本語の格助詞・副助詞・係助詞の対照研究」の成果の一部である。記して感謝したい。